

市民スポーツの要として活躍 体育指導委員

の活動を知っていますか？



体育指導委員は地域のスポーツイベントやマラソン大会などの沿道警備、誰もができる生涯スポーツの普及のため、さまざまな活動をしています。今回は体育指導委員の活動について取材しました。
担当は市民編集委員 古田島・大沢。

問い合わせは スポーツ課 ☎898-5832

ドッチビーの研修を受ける体育指導員



大会の企画から運営までサポート

として活躍しています。これまで体育指導委員が生涯にわたりに行えるスポーツとして、スマイルボウリング、

グラウンドゴルフ、ソフトバレー、インディアアカなどを普及させてきました。現在は、ドッチビーとスポレックの普及

に力を入れています。

どの競技も安全性が高く道具も手軽に入手できます。スポーツの熟練度や年齢に関係なく誰でも楽しめるスポーツというの大きな特徴です。

市民スポーツ普及の裏方としても活躍

昨年11月15日、17日に市民体育館などで開催された「第13回前橋市民軽スポーツフェスティバル」ではスマイルボウリングが36、グラウンドゴルフが85、ソフトバレーが57、



スポレックの練習風景

体育指導委員とは

体育指導委員は、市内24地区（6ブロック）から各地区の自治会連合会長の推薦、教育委員会からの委嘱により、男性76人、女性36人の合計112人で構成しています。年代別では、50歳代の人が多く、全体の平均年齢は55歳、平均経験年数は7年。生涯スポーツ活動の振興に重点を置き、市民とスポーツを結び付けるコーディネーターとして、スポーツの振興に寄与する役割と健康で元気な地域づくりを推進する役割を担っています。

4つの専門部で役割分担

- 活動組織は、研修部、調査研究部、指導部、広報部の4部門に分かれており、各部門では次のような活動をしています。
- 研修部：市主催の体育指導員研修会、その他研修会などの企画運営
- 調査研究部：軽スポーツ普及調査、スポー



競技役員としてスマイルボウリングを盛り上げます

日ごろはどんな活動を

体育指導委員は市内各地区でスポーツ行事の企画立案への参加と当日の運営の支援や地区内スポーツ行事の講師としての実技指導をしています。また、生涯スポーツの普及を目的とした講習会や教室の開催など生涯スポーツの担い手

ツ愛好団体名簿の作成、生涯スポーツにかかわる調査などの実施

- 指導部：軽スポーツ教室の開催、生涯スポーツ大会などの運営企画
- 広報部：年2回の体育指導委員広報（市内各世帯に回覧。体育指導委員の活動や各種軽スポーツなどの情報提供）の発行



市体育指導委員会会長 稲村 豊さん



同副会長 村岡 隆之さん



同副会長 中林 アキ子さん

人間関係も広がります。初めて参加するときは少しちゅうちよするかもしれませんが、参加することでスポーツの爽快感や地域の人の交流などがたくさん得るものがあると感じました。

編集 後記

勢1,600人も市民が軽スポーツを楽しみました。このことから体育指導委員の人たちの日ごろから願っている「市民が明るく楽しくスポーツに親しむ元気な笑顔が見たい」（稲村さん）「誰もが楽しめる競技でありたい」（村岡さん）「子どもからお年寄りまで、誰もが大会に参加できるように配慮する」（中林さん）というところが、この大会で見事に実を結んでいるように思いました。

軽スポーツは、楽しみながら行うものであり、その競技も、コート、道具、競技方法など厳密なルールがあることを知り、それらを考え出した人の苦労がうかがえます。そして、今回紹介した中のひとつ、「スマイルボウリング」の発祥が本市だということを聞いて驚きました。また、毎年開催されている軽スポーツフェスティバルには、1,600人も参加しているということも驚きで、今回の取材は驚きの連続でした。